

9月2日（月）

青少年デジタルアート交流プログラム（ピカピカパニック）お披露目式

午後1時に小春日和のメルボルン空港に到着した後、代表団一行はバスで市内に移動し、長旅の疲れも見せずに夕刻から行われた「ピカピカパニック」のお披露目式に参加するため、芸術文化施設「シグナル」に移動した。

青少年デジタルアート交流プログラムは、大阪・メルボルン姉妹都市提携35周年を記念して、大阪市立咲くやこの花高校の生徒が両市のアーティストと共同制作した映像作品「ピカピカパニック」を、大阪とメルボルンで同時に展示し、あわせて、35周年記念事業のパネル展示を行うものである。

この映像作品は、咲くやこの花高校の生徒が、メルボルンのアーティストから提供を受けた素材（音や映像）に対して、ワークショップを4回開き、大阪のアーティストから助言・指導を受けながら、素材に対応するコンテンツ（アニメ、映像、サウンド）を加えて作品を制作し、その作品に対してメルボルンのアーティストが総合調整や編集を行い、8月下旬に完成した。

作品のお披露目式には、芸術文化担当のロハン・レパード議員を初め、多数の芸術文化の関係者が参加し、出席者間の交流が盛んに行われた。同時に、大阪市役所においても1階玄関ホールにてお披露目式が行われ、咲くやこの花高校の生徒やアーティストが多数参加し、メルボルンと大阪の関係者がリアルタイムで交流を行った。

まずロハン・レパード議員よりご挨拶をいただき、続いて村上副市長、美延市会議長からそれぞれ挨拶を行った。

【レパード議員 挨拶要旨】

代表団一行に心から歓迎申し上げる。大阪市とメルボルン市は1978年に姉妹都市提携を結んで以来、緊密な関係を築いてきた。長年の交流により両市の絆が深まったが、近年は、芸術文化の分野にも交流が拡大している。共通のテーマで人々を一つにまとめるため今後も絆を深めていきたい。

【村上副市長 挨拶要旨】

姉妹都市提携35周年を記念して、次世代を担う若者が参加し、双方で協力して作り上げた作品を、両都市で同時にお披露目できることを非常にうれしく思う。

今回参加したのは、メルボルン近郊の高校と姉妹校提携を行っている市立咲くやこの花高校の生徒達であるが、このような若い世代の方々の交流により、両市の関係がますます強固になることを期待する。

【美延市会議長 挨拶要旨】

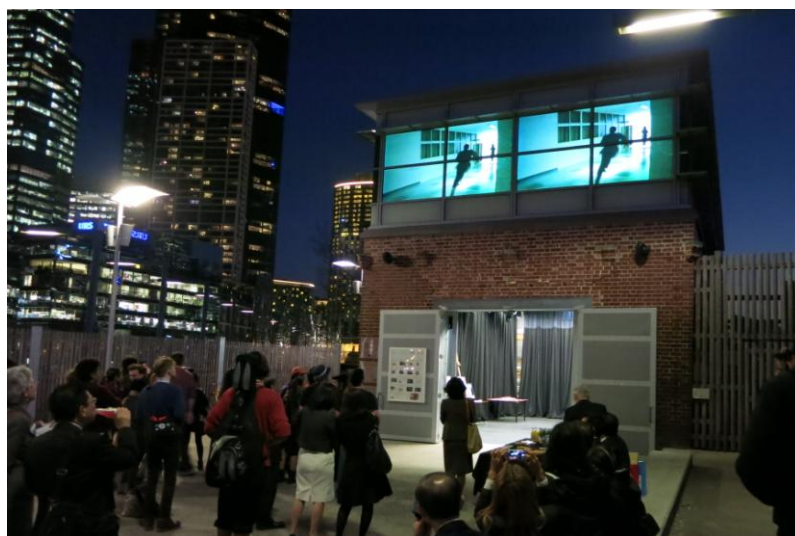
大阪の若者達に貴重な経験を与えてくれたこのようなプログラムを、メルボルン市から企画・提案いただき大変うれしく思う。また、作品完成に至るまでご協力いただいた関係者にも感謝申し上げる。両都市の今後の発展と繁栄、そして皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈りする。

続いて、アマンダ・ハスカード氏とケイト・グレッグ氏から、作品完成に至るまでの経過と作品概要について説明を受けたのち、スカイプ（インターネット電話サービス）を通じて、大阪市役所で参加している高校生と交流する様子を視察した。



展示作品について説明聴取

説明後、屋外に移動し、映像作品「ピカピカパニック」を鑑賞した。代表団一行は、リバーサイドの美しい夜景をバックに大画面で映し出される幻想的な映像と、迫力ある大音響を堪能しながら、関係者との意見交換を積極的に行った。



映像作品「ピカピカパニック」

在メルボルン日本国総領事館夕食会

在メルボルン日本国総領事館主催の夕食会が、総領事公邸にて行われた。

まず側嶋秀展 総領事より歓迎のご挨拶をいただき、続いて村上副市長、美延市会議長からそれぞれ挨拶を行った。

【村上副市長 挨拶要旨】

側嶋総領事を初め、総領事館の皆様におかれては、平素から大阪市とメルボルン市の友好交流に多大なご助力を賜り、市民を代表してお礼申し上げます。35年間にわたり大阪とメルボルンが良好な関係を育むことができたのは、皆様のおかげであり、引き続きご理解・ご協力をお願いします。

本日は、普段ではなかなか交流する機会の少ない日本の有名企業の皆様にお会いすることができ、感激している。

また、9月4日に開催する「大阪プロモーションセミナー」、「ネットワーキングレセプション」にご出席賜り感謝申し上げます。今回はメルボルン企業のみならず、アジア・太平洋地域のビジネスパートナー都市も対象にしており、大阪のプレゼンス向上を図りたいと考えているので、よろしくお願いします。

【美延市会議長 挨拶要旨】

夕食会を開催いただき感謝申し上げます。

メルボルン市と大阪市は、1978年の姉妹都市提携以来、経済、文化、学術などあらゆる分野での交流を深めて、友好親善関係を築いている。

今後、両市の交流を一層深めていくためには、総領事館の方々のお力が是非とも必要であるので、よろしくお願いします。

次の機会には、ぜひ大阪にもお越しいただき、大阪の魅力も存分に味わっていただきたい。

夕食会には、総領事館の関係者のほか、メルボルンに事務所を構える日本企業の代表者が出席しており、さまざまな立場の方々と積極的に情報交換が行われた。日本人同士という気楽さもあり、終始和やかな雰囲気の中、会話が弾み、終了時間が予定より1時間超えるほどであった。非常に有意義な夕食会となった。